

新型コロナウイルス感染症蔓延下における 薬剤師の地域貢献に関する意識調査

一般社団法人 茅ヶ崎寒川薬剤師会（神奈川県）

○小林きぬ子・原みよ子・花島邦彦・森川厚子・大久保敦子

第55回日本薬剤師会学術大会 利益相反の開示

演者名： 小林 きぬ子

私は今回の演題に関連して、
開示すべき利益相反はありません。

茅ヶ崎寒川薬剤師会

該当地域：神奈川県茅ヶ崎市（人口約24万人）と寒川町（約5万人）

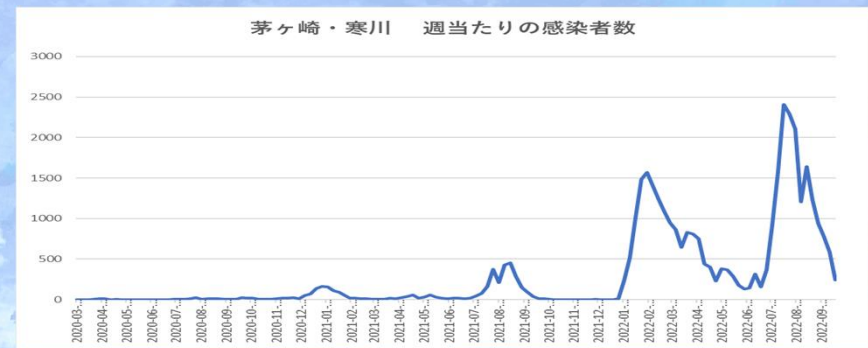
会員薬局数：81薬局

会員数：137名



茅ヶ崎寒川地域の感染状況

感染者総数：36,789名（2020年3月14日～2022年9月26日）



【コロナ感染蔓延に対する薬剤師の活動】

- ・ワクチンの希釈分注作業・PCR等無料検査事業
- ・抗原検査キット販売・抗ウイルス薬の備蓄
- ・感染者への薬剤の宅配・長期休暇中の調剤対応・・・

参加判断が個々の薬局や薬剤師に委ねられた。

当薬剤師会において上記業務への参加意向を確認した際に、薬剤師間でその意識に大きな差が見られた。そこで、保険薬局で働く薬剤師は、コロナ禍のような非常事態に地域貢献することに対しどのような意識を持っているのかアンケート調査し、更に実務実習生にも同様のアンケートを行い、今後の薬剤師の在り方について考察することとした。

調査方法

当会会員薬局にアンケート用紙を送付し、郵送にて回収した。会員薬局に勤務する会員以外の薬剤師にも回答を求めた。学生に対する調査は、本年4月に当地区及び藤沢市、鎌倉市にて実務実習を受けていた5年生に回答を求めた。

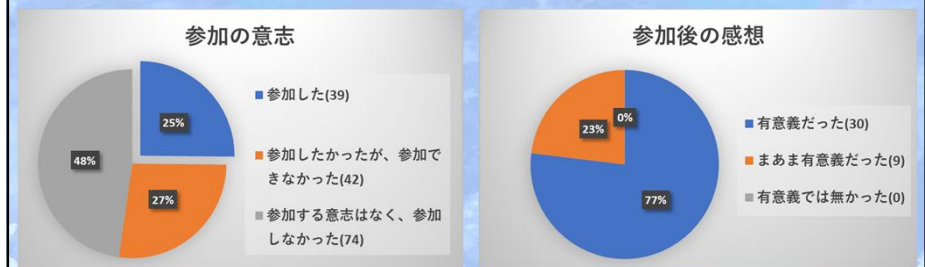
調査内容は、ワクチンの希釈・分注作業、PCR等無料検査事業、抗原検査キット販売、陽性患者宅への宅配、ラゲブリオ対応に対し、参加の有無、参加理由、不参加理由、事業への考え、今後の参加希望等である。

回答数

アンケート配布薬局数：81店舗（会員薬局全店舗）
回答薬剤師数：157名（会員70名、非会員87名）

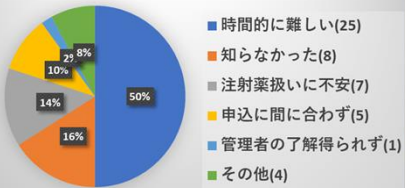
アンケート配布学生数30名（集団講習会参加全学生）
回答学生数：30名

ワクチン希釈・分注



ワクチン希釈・分注

参加したくても参加できなかった理由

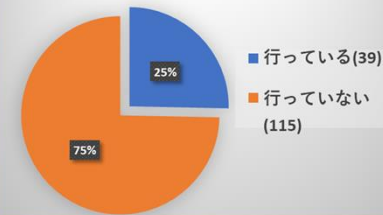


今後の希望

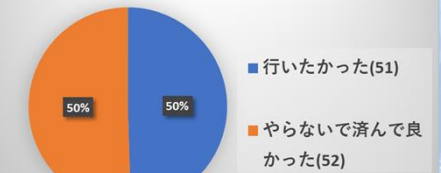


PCR等検査無料化事業

無料検査の実施状況

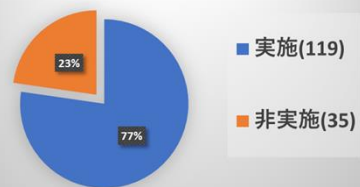


行っていない薬剤師の意識



陽性患者宅への宅配事業

実施状況

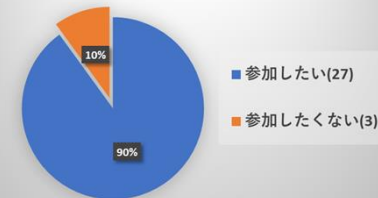


非実施者の意向

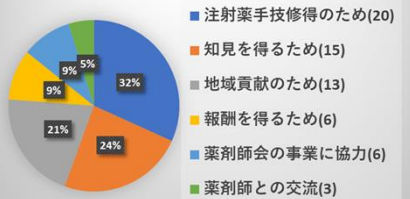


ワクチン希釈・分注（薬学生）

参加希望

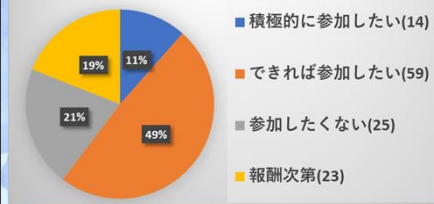


希望理由（複数回答可）

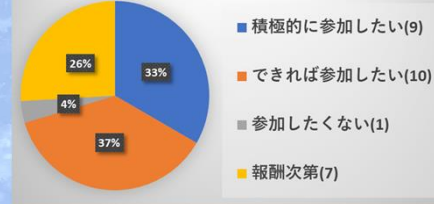


PCR等検査無料化事業に対する今後の希望

現役薬剤師



薬学生（実習生）



考察

薬剤師法に薬剤師の任務として公衆衛生の向上及び増進が明示されており、調剤報酬改定においても災害時等の地域貢献が求められているが、少なからず参加を拒否する薬剤師が存在し、報酬次第で参加するという薬剤師も多いこと、学生でも報酬次第で参加を考えると回答した学生が多いことを確認した。

現役薬剤師だけでなく学生の段階から、倫理教育や地域貢献の重要性を教育する必要性を感じた。